

MISEN

MIYAKO ISLANDS
SEA ENVIRONMENTAL NETWORK

特定非営利活動(NPO)法人

宮古島 海の環境ネットワーク 

特定非営利活動法人

宮古島 海の環境ネットワーク

代表理事 春川 淳

◆ **名前：春川 淳（はるかわ じゅん）**

特定非営利活動法人 宮古島 海の環境ネットワーク 代表理事

◆ **静岡県静岡市清水区(旧清水市)生まれ**

公務員、一般会社員を経て、東京・神奈川・静岡・大阪・パラオ

などに店舗等を構える大手ダイビングショップグループで勤務

ダイビングガイド時代（2002年）にサンゴの調査「リーフチェック」

に出会い、環境やエコツアーに興味を持つ

2007年に沖縄県宮古島に移住しエコツアーショップ「セブン

シーズ」を開業

2012年に、ガイド仲間と共に、特定非営利活動法人 宮古島

海の環境ネットワークを設立

MISEN
MIYAKO ISLANDS
SEA ENVIRONMENTAL NETWORK

MISEN

MIYAKO ISLANDS
SEA ENVIRONMENTAL NETWORK

特定非営利活動(NPO)法人

宮古島 海の環境ネットワーク

宮古島の海を中心に自然環境を守るため

「海岸清掃」「海洋調査」「環境教育」に取り組んでいます



私たちは、
宮古島の海の環境を守り
次の世代まで、この海を残したい！

● 教育事業

◆ 修学旅行・研修旅行向け海辺の環境教育プログラム

◆ 学校向け環境教育授業

■ マングローブ観察プログラム

■ サンゴ礁、磯場観察プログラム

■ 海岸清掃プログラム

◆ 指導者養成・資格整備支援活動



MISEN

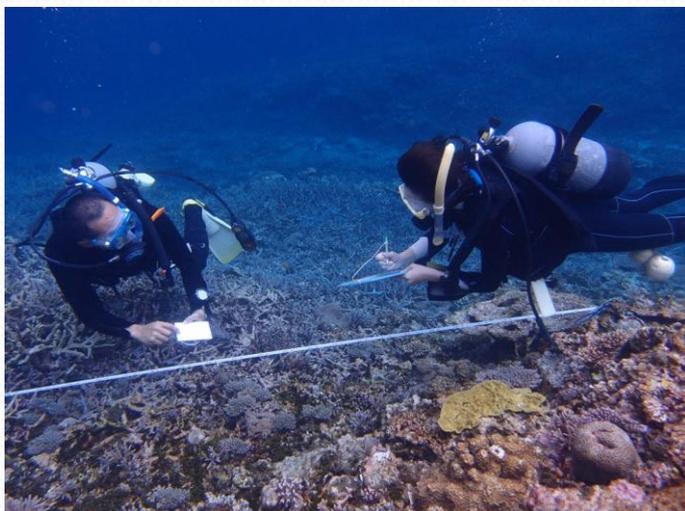
MIYAKO ISLANDS
SEA ENVIRONMENTAL NETWORK

特定非営利活動(NPO)法人

宮古島 海の環境ネットワーク

● 海洋調査事業

- ◆ リーフチェック（サンゴの定点観察）
- ◆ その他ボランティアによる調査及び情報提供
- ◆ 宮古島周辺海域の海洋調査情報公開とボランティア募集



MISEN
MIYAKO ISLANDS
SEA ENVIRONMENTAL NETWORK

特定非営利活動(NPO)法人
宮古島 海の環境ネットワーク



● 海岸清掃事業

- ◆ 海岸清掃の実施
- ◆ 宮古諸島の海岸清掃情報公開とボランティア募集
- ◆ ボランティア清掃支援活動
- ◆ 海岸清掃連絡調整会議におけるネットワーク作りの推進



MISEN
MIYAKO ISLANDS
SEA ENVIRONMENTAL NETWORK

特定非営利活動(NPO)法人
宮古島 海の環境ネットワーク



Map data ©2019 ZENRIN

宮古島海の環境ネットワーク

<http://econet.jpn.org/>

拾ったゴミの量

231930 L

累計参加人数

1786人

累計活動時間

4610分

ありがとうの数

697

いいね! 2

ツイート



MISEN

MIYAKO ISLANDS
SEA ENVIRONMENTAL NETWORK

事務局 宮古島市 海の家
宮古島 海の環境ネットワーク

International Coastal Cleanup 2017

国際海岸クリーンアップ 2017 総合結果概要

2017 年秋の国際海岸クリーンアップ (International Coastal Cleanup: ICC) には、5,616 人が 116 会場に参加し、60km の海岸・河川・湖沼・水の中および内陸から一つひとつ丁寧に拾い上げられたごみの総数は、146,738 個も達しました。ここでは ICC 総合結果の概要を紹介します。

ICC 都道府県別参加状況トップ 10



参加者数



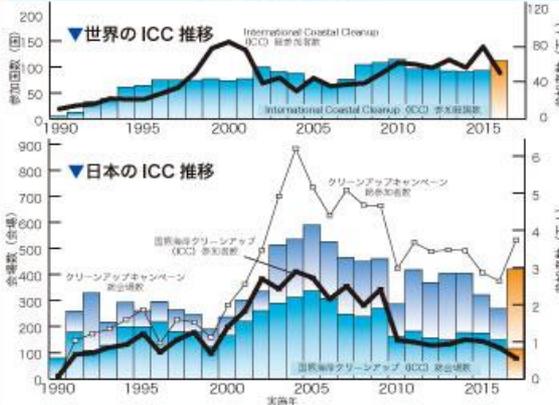
回収したごみの量 (個数)

一度海洋に流出したごみは、海底に沈むと回収が困難となります。また海の流れによって広域に散らばっていきま。これら海洋ごみの多くは、「飲料」「食品」「喫煙」「生活」など、私たちの日常生活に起因するごみであり、海外からだけでなく、私達の街から河川を通じて海洋に流れ出しています。

今年は海洋におけるマイクロプラスチックが注目される年となりました。これはマイクロプラスチックを使用した製品が海洋へ流出したものでなく、JEAN がこれまで ICC を通じて管理を徹底し続けてきた海岸や海洋中におけるプラスチックの破片の蓄積によるものも多く含まれます。プラスチックは、自然界では分解されにくい性質のため、海の流れに乗って広域に拡散し、人の手が届かない海岸や海域、そして海底、さらには生物の体内へも集まります。よって海洋におけるマイクロプラスチック問題の解決には、発生抑制はもちろんのことですが、海に流出してしまったプラスチック製品について、破片化する前に早急に応答することも重要です。

美しい海を取り戻し、それを維持して行くためには、今後みなさんによるクリーンアップの取り組みが必要です。

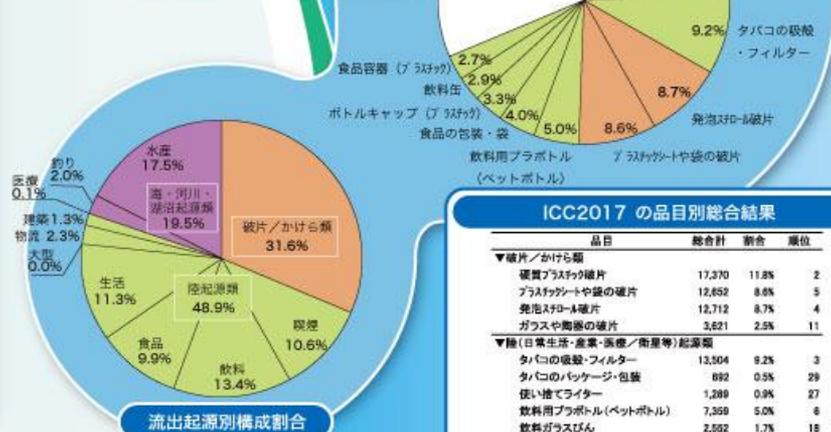
ICC 27 年間の推移



ここに注目!

- ★「破片/かけら類」は、4品目中3品目がトップ10 (29.1%)
- ★「陸起源類 (48.9%)」>「海・河川・湖沼起源類 (19.6%)」
- ★私たちが日常生活で使用しているプラスチック製品「飲料」「食品」「喫煙」「生活」が陸起源類ごみの9割以上
- ★カキ養殖用まめ管が1位! 瀬戸内海におけるカキ養殖用パイプ問題ははまだ解決されていません。
- ★総合トップ10品目は、27年間大きな変化なし。
- ・トップ3の出現頻度は、硬質プラスチック (25年)、タバコの吸殻・フィルター (22年)、発泡スチロール破片 (17年)
- ・トップ1は、タバコの吸殻・フィルター (1990年代) から硬質プラスチック破片 (2000年代) へ、そしてカキ養殖用まめ管へ。
- ・27年間で順位上昇品目: カキ養殖用まめ管、プラスチックシートや袋の破片、飲料用プラボトル
- ・26年間で順位降下品目: 花火 (13位)

ICC2017のトップ10割合



流出起源別構成割合

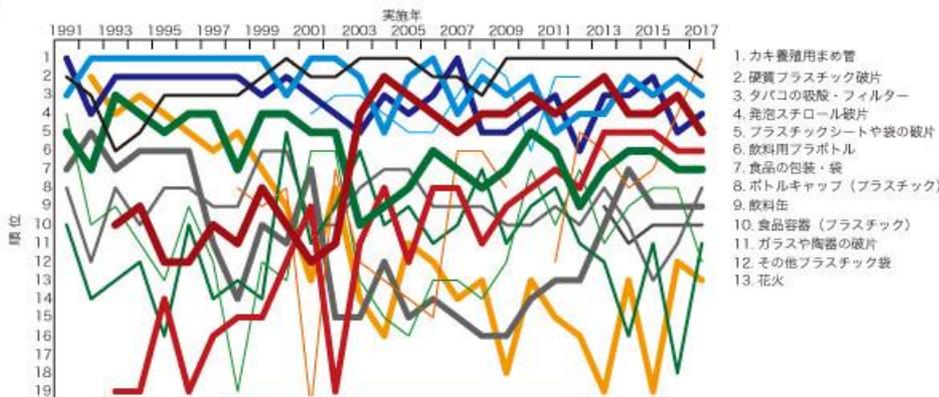


ICC2017の品目別総合結果

品目	総合計	割合	順位
▼破片/かけら類			
硬質プラスチック破片	17,370	11.8%	2
プラスチックシートや袋の破片	12,652	8.6%	5
発泡スチロール破片	12,712	8.7%	4
ガラスや陶器の破片	3,621	2.5%	11
▼陸(日常生活・産業・医療/衛生等)起源類			
タバコの吸殻・フィルター	13,504	9.2%	3
タバコのパッケージ・包装	892	0.6%	29
使い捨てライター	1,289	0.9%	27
飲料用プラボトル (ペットボトル)	7,359	5.0%	6
飲料ガラスびん	2,552	1.7%	18
飲料缶	4,186	2.9%	9
ボトルキャップ (プラスチック)	4,882	3.3%	8
ボトルキャップ (金属)	544	0.4%	31
バックホルダー	160	0.1%	38
フォーク・ナイフ・スプーン	102	0.1%	42
カップ・皿 (紙)	184	0.1%	37
カップ・皿 (プラスチック)	425	0.3%	32
カップ・皿 (発泡スチロール)	389	0.3%	33
ストロー・マドラー	1,147	0.8%	28
食品の包装・袋	5,841	4.0%	7
食品容器 (プラスチック)	4,016	2.7%	10
食品容器 (発泡スチロール)	2,373	1.6%	20
レジ袋	2,787	1.9%	17
紙袋	583	0.4%	30
その他プラスチック	3,348	2.3%	12
ふた (プラスチック)	1,525	1.0%	25
洗剤・漂白剤ボトル	1,819	1.2%	23
生活雑貨 (歯ブラシ、文具等)	1,912	1.3%	21
おもちゃ (ボール、フィギュア等)	1,429	1.0%	26
風船	119	0.1%	40
花火	3,107	2.1%	13
家電製品	39	0.0%	43
タイヤ	20	0.0%	45
荷造り用ストラップバンド	365	0.2%	34
プラスチック製フロート・ブイ	2,993	2.0%	14
建築資材 (釘、釘、トタン板等)	1,504	1.0%	22
注射器	109	0.1%	41
▼海・河川・湖沼 (水産・釣り・海上投棄等) 起源類			
釣り糸	156	0.1%	39
ルアー (エギ、ワーム)	2,843	1.9%	16
ロープ・ひも	2,380	1.6%	19
漁網	201	0.1%	36
発泡スチロール製フロート	1,755	1.2%	24
プラスチック製フロート・ブイ	238	0.2%	35
かご漁具	21	0.0%	44
カキ養殖用パイプ (長さ10-20cm)	2,809	1.9%	15
カキ養殖用まめ管 (長さ1.5cm)	18,238	12.4%	1
合計	146,738		

※総合結果とは、ICC期間中 (9月10日) に実施された水産 (海岸、河川、湖沼等)、水中、内陸会場を除く。

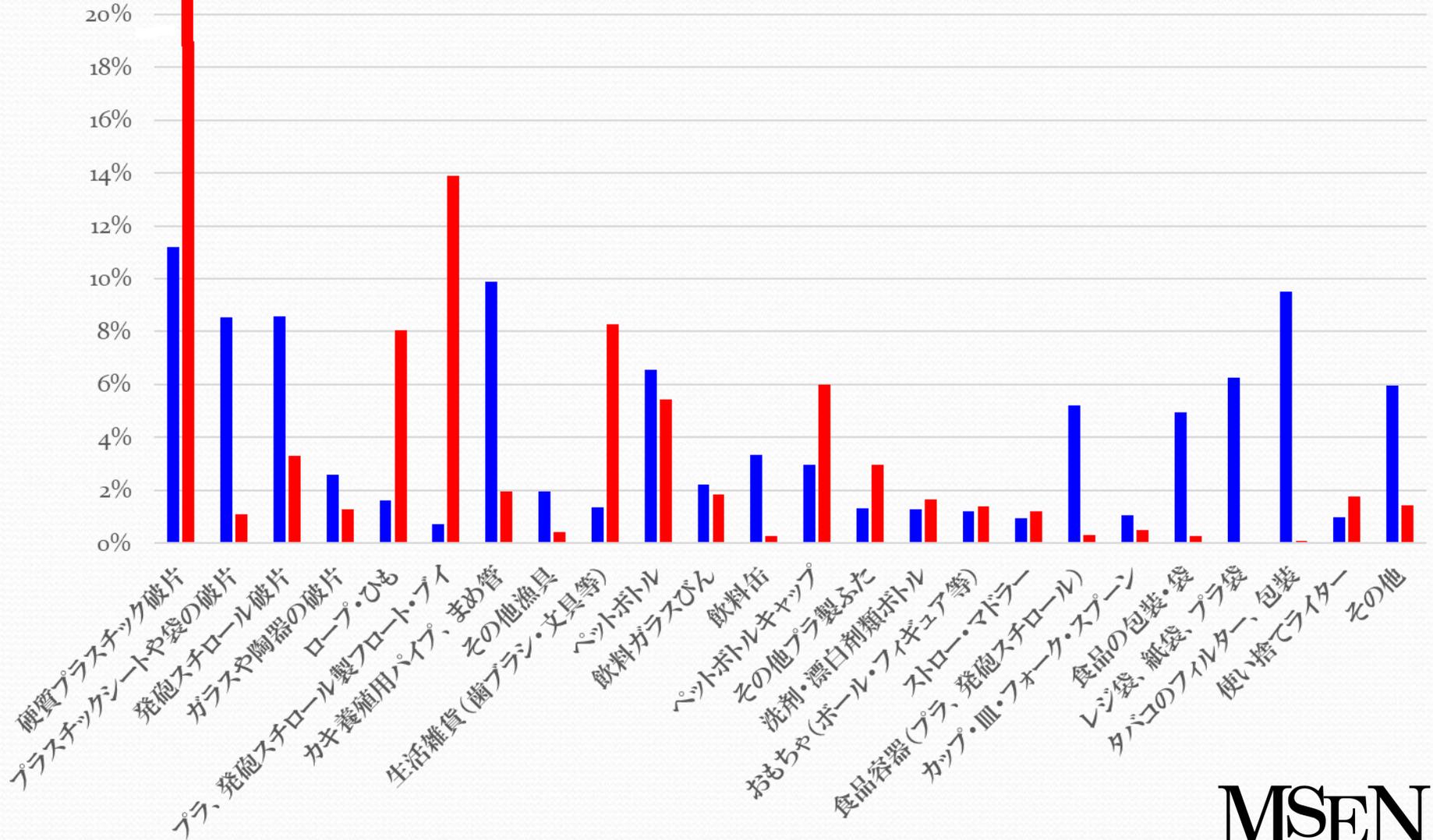
総合トップ10品目 27年間の推移



1. カキ養殖用まめ管
2. 硬質プラスチック破片
3. タバコの吸殻・フィルター
4. 発泡スチロール破片
5. プラスチックシートや袋の破片
6. 飲料用プラボトル
7. 食品の包装・袋
8. ボトルキャップ (プラスチック)
9. 飲料缶
10. 食品容器 (プラスチック)
11. ガラスや陶器の破片
12. その他プラスチック袋
13. 花火

37%

ICC国際海岸クリーンアップ調査結果



■ 日本平均(2015-2017) ■ 高野平均(2015-2018)



特定非営利活動(NPO)法人
宮古島 海環境ネットワーク